

移民政策を取る国では、好況時には多くの移民がやってきますが、景気が悪くなったからといって帰ってもらうこともできず、結果不法滞在、貧困、犯罪が頻発しています。また、移民もやがて高齢になれば年金や医療の社会保障が必要になりますので、少子高齢化問題の解決にはなりません。このように社会の在り方を根本から変えてしまう移民を、日本は安易に受け入れていいものでしょうか。



スウェーデン、英国、フランスでの移民による暴動の様子。将来、日本の子供たちが大きくなって、移民による犯罪や暴動、テロが日本国内で多発した時、「あの時、お父さんやお母さんの世代が移民なんか入れなければ、日本はこんなにひどい状況にならなかったのに・・・」と嘆き悲しまずに済むように、今の大人世代が考えて行動すべきではないでしょうか。

## 出産年齢や家族計画についての正しい知識は、少子高齢化問題対策への第一歩。



残念ながら、医療技術の発達した今でも、女性の出産可能年齢の伸びはそれほど著しいものではありません。有名人などで40代以降の出産がマスコミでクローズアップされることがありますが、35歳を超えると不妊率の高まりや、母体への負担増加など、さまざまな課題を乗り越えなくてはいけないこともしばしば。子供は授かりもの、だからこそ、一人ひとりが正しい知識を持った上で早めの「家族計画や人生計画の準備」と「決断」が重要です。

幸い現在は、一昔であれば高価な書籍でしか入手できなかった情報もインターネットで手に入るようになりましたので、ぜひ関連情報を調べてみてはいかがでしょうか。

## 私たちの「選択」と、未来への「責任」。

今の時代、結婚や出産について選択をするのは、私たち個々人であり、誰かに強制されるものではありません。そのような自由な時代だからこそ、私たち一人ひとりの選択が、日本全体に、将来の世代に、重要な影響を及ぼします。先祖から連綿と受け継いできた命のバトンを、自ら進んで繋げずに落とすという選択が本当にいいことなのかどうか。未来への責任ある選択について、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

日本に生まれてよかった

日本の危機

移民問題点

検索



このチラシは少子高齢化問題およびマスコミが報道しない日本の問題に危機感を持つ一般国民有志が無償で印刷配布しています。一切の政党・団体との関係はありません。複製・配布・情報拡散大歓迎!